

2025 年 3 月期の事業概況

2025 年 7 月 1 日
サンヨー食品株式会社
広報宣伝部

サンヨー食品株式会社（本社：東京、社長：井田純一郎）の 2025 年 3 月期（自 2024 年 4 月 1 日～至 2025 年 3 月 31 日）における事業概況は、以下の通りとなりました。

2025 年 3 月期の連結業績（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		経常利益	
	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	194,073	7.6	63,968	26.2
2024年3月期	180,307	11.5	50,668	12.6

【事業の経過及びその成果】

当事業年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、不安定な国際情勢による地政学リスク、世界経済の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが中核事業を展開する即席麺業界におきましては、物価上昇が継続する中、消費者の生活防衛意識は依然として強く、厳しい事業環境が続いております。

こうした環境の下、当連結会計年度の当社グループの売上高は 1,940 億 73 百万円（前期比 7.6%増）、経常利益は 639 億 68 百万円（前期比 26.2%増）となりました。

【事業の状況】

サンヨー食品(株)は、主力の「サッポロ一番」に於いて、年度初頭からユーザーマインドを刺激する新 CM「ずっと好きだった」シリーズを開始するとともに、世界的なゲームコンテンツとタイアップした大型企画の実施や、「減塩」シリーズのリニューアルなどにより、ロングセラーの存在感を訴求いたしました。

カップ麺は「カップスター」で各種タイアッププロモーションやエリア戦略商品などを継続展開、リニューアル以降好調を続ける「サッポロ一番どんぶり」シリーズとともに、2大主力ブランドで大幅な売上拡大を果たしました。「名店の味」シリーズでは本格派のミニカップや高額袋麺の発売など、ラインナップを拡大して、ブランドの活性化に大きな成果を上げました

これらの結果、当期の売上高は 491 億 9 百万円（前期比 4.5%増）となりました。

連結対象会社であるエースコック株式会社、Sanyo Foods Corporation of America 及び Acecook Vietnam Joint Stock Company 及びその他事業の合計売上高は 1,502 億 16 百万円（前期比 12.6%増）となりました。

中国における持分法適用会社である康師傅控股有限公司の売上は、中国元ベースで前期比 0.3%の増加となり、且つ期末為替レートが前期比円安中国元高となったため、円ベースで前期比 9.0%増加の 1 兆 7,468 億円となりました。

【今後の課題と展望】

国内食料品事業は、主食であるコメの価格高騰により、麺類やパンなどの小麦製品の消費は増加傾向にあるものの、少子高齢化・人口減少によるマーケットの縮小傾向、販売チャネルの再編加速などの中長期的課題に加えて、投入コストの高止まりによる事業収益の圧迫、物価上昇に伴う節約志向の強まりなど、先行きが引き続き不透明な経営環境下に置かれています。

当社では、製品の安定供給を念頭に、食の安全・安心に向けての体制強化の継続、品質の向上、消費者視点に立った商品価値の提案、社内のデジタル化と徹底したコスト意識を維持し、持続可能な事業活動を堅実に推進してまいります。

海外食料品事業は、中国、東南アジア、北米、サブサハラアフリカにおいて引き続き主要ブランド重点商品のシェア及び配荷率と収益性の向上、新製品開発、マーケティング及び販売活動の強化に注力して取り組んでまいります。